研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-640		21-052	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門　三浦克之

題名（原題／訳）

Is Alcohol Consumption Associated With Risk of Early Menopause?

アルコール摂取は早期閉経リスクと関連するか？

執筆者

Freeman JR, Whitcomb BW, Purdue-Smithe AC, Manson JE, Langton CR, Hankinson SE, Rosner BA, Bertone-Johnson ER.

掲載誌

Am J Epidemiol. 2021 Dec 1;190(12):2612-2617. doi: 10.1093/aje/kwab182.

キーワード	PMID
アルコール、早期閉経、内分泌系、ワイン、蒸留酒	34216210

要　旨

目的：

早期閉経は、心血管疾患、骨粗鬆症、死亡率などの有害事象と関連する。早期閉経の危険因子の一つにアルコールの報告があるが、アルコールの種類と早期閉経の報告はみられない。本研究では、Nurses' Health Study II（NHS2）において、アルコール摂取量および種類別摂取頻度と早期閉経の関連を評価した。

方法：

1989-2011 年の前向きコホート研究（NHS2）に参加した米国女性看護師 107,817 人（25-42 歳）を対象とした。アルコール摂取量は、ベースラインおよび 1991 年以降 4 年ごとにビール（通常/軽め）、ワイン（白/赤）、蒸留酒別摂取頻度を質問紙にて調査した。平均アルコール含有量（ビール 12.8 g/杯、ワイン 11.0 g/杯、蒸留酒 14.0 g/杯）を乗算し、ベースライン、現在、累積消費量それぞれのアルコール摂取量を評価した。早期閉経は、ベースライン時に過去 12 か月間無月経（かつ 45 歳以前）の女性とした。その際、放射線療法、化学療法、または卵巣の外科的切除による閉経は除外した。共変量は、年齢、肥満度、人種/民族、喫煙、初潮年齢、分娩回数、経口避妊薬の使用等を用いた。総アルコール摂取量（0-30g 以上/日を 6 群に層別化）および種類別摂取頻度（月 1 回未満、月 1～週 1、週 1 以上）と早期閉経リスクについて、Cox 比例ハザードモデル（HR、95%信頼区間(CI)）を推定した。

結果：

ベースライン、現在、累積アルコール総摂取量は、非飲酒者に比べて中程度の飲酒者で低い傾向を示した。特に、現在摂取量が 10.0-14.9g/日の早期閉経リスクは非飲酒者に比べ有意に低かった（HR:0.81, 95%CI:0.68-0.97）。種類別飲酒では、白ワインの摂取頻度が週 1 回以上の早期閉経リスクは月 1 回未満に比べ低い傾向を示した（HR:0.86, 95%CI:0.73-1.00）。赤ワイン、蒸留酒も負相関の傾向を示したが、ビールは関連がなかった。

結論：

中等度のアルコール摂取、特に白ワイン等は早期閉経リスク低下と弱い関連性を示した。